

父親たちも楽しく学校活動へ参加し

子ども達、母親、学校から喜ばれる活動とは

下関市立桜山小学校PTAおよびさくら会

1 学校地域の概要

P T A 会 長	中 野 竜 二
学 校 長	田 中 俊 光
さくら会会長	百 本 昇 市
児 童 数	2 2 1 名
	さくら 2 名
	1 年 生 3 6 名
	2 年 生 2 7 名
	3 年 生 4 1 名
	4 年 生 2 5 名
	5 年 生 4 1 名
	6 年 生 4 8 名
家 庭 数	1 6 3 名
教 職 員	1 7 名
所 在 地	〒750-0061



下関市上新地町2丁目5番10号

T E L 083-222-2649

F A X 083-222-1648

E mail sakurayama-shou@edu.city.simonoseki.yamaguchi.jp

(1) 校区の特色

校区一帯は、昔、赤間関市（現下関市）周辺地として静かな所であったが、明治34年山陽線の開通、明治38年関釜航路の開通などによる下関の繁栄は次第に西部地区にもおよんだ。特に下関駅の現在地移転後は、より発展した。

校区には明治維新の志士を祭る桜山神社をはじめ、高杉晋作率いる奇兵隊と報国隊が小倉戦争のさい焼け落ちる小倉城から持ち帰った大太鼓が、小倉戦争の戦勝祈願を行った氏神の厳島神社に奉納され。地区には、高杉晋作終焉の地など多数の数多くの史跡があり、児童の郷土学習に役立っている。





〈厳島神社大太鼓〉



〈高杉晋作終焉の地〉



〈桜山神社維新志士の墓石〉



〈奇兵隊結成の地・白石正一郎旧宅の跡〉



〈ひょうたん井戸〉

※ 神霊は現在 391 柱  
(神霊碑は 396 柱)。

吉田松陰神霊

奇兵隊士 256 柱

報国隊士 96 柱

諸隊士 38 柱、計 391 柱

※ ひょうたん井戸は、高杉晋作が、攘夷派の刺客から丸 1 日身を隠した井戸として伝えられている。

## (2) 学校の特徴

大正 4 年、桜山尋常高等小学校として創立し、9 年に今の場所へ移転する。

昭和 20 年戦災により校舎を焼失するが、22 年に再興し開校(1～3 年生、教職員)する。児童数も創立当時の 608 人(9 クラス)から 1,815 人(31 クラス)まで増え続けた。30 年神田小学校の新設に伴い、新地町・伊崎町・新地西町の一部が同校に移り、商店街地域は少なくなった。

61 年に現在 3～6 年生を対象としたファンファーレバンドを桜山小学校後援会の協力で結成。近年、高層アパート等の建築が目覚ましく下関西部地区における。交通至便の住宅地域となったが少子化に伴い、児童数は減少を続けてきた、現在 220 人前後を保っている。

平成 23 年には、さくら会(おやじの会)が発足、25 年にコミュニティースクールも始まる。

現在ファンファーレバンドは、1 年に 1 回地域祭りのリトル釜山フェスタで演奏発表し地域の方に喜んでもらっています。今年度、桜山小学校は創立 100 周年を迎える年になり、保護者・卒業生・教職員・児童・地域の方々それぞれの思い胸に桜山小学校をみんなでお祝いをしたいと思っています。



〈リトル釜山フェスタ～平成 27 年～〉

(3) 学校経営基本構想

**山口県教育の基本目標** 「未来を拓くたくましい「やまぐちっ子」の育成」

**下関市の学校教育目標** 「夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇（ほこ）りと志（こころざし）」

～ともに学び ともに育み 未来（あす）を創る 下関の教育～

**〈 校 訓 〉**

「正しく」「強く」「美しく」

**学校教育目標**

「心身ともに健康で、自ら学び、創意と活力に満ちた心豊かな児童を育成する」

**〈めざす児童像〉**

- 自ら学ぶ子
- 元気でがんばりぬく子
- 心豊かな子

**〈めざす教師像〉**

- 強い愛情と情熱にあふれた教師
- 常に研鑽に励み、高い専門性を身につけた教師
- 豊かな人間性と社会性を身につけた教師

**本年度重点目標**

- 安全・安心な学校づくり
- しっかりとした学力を身につける学校づくり
- 特色ある教育活動を推進する学校づくり

**生活重点目標（レインボーチャレンジ）**

あいさつ・言葉づかい・時間・清掃  
廊下歩行・くつ、スリッパの整とん

**○安全・安心な学校**

- ・計画的な生活アンケートの実施対応
- ・深刻な悩み相談に対応できる体制づくり
- ・集団下校を含めた緊急避難体制の充実と緊急情報体系の整備
- ・定期的な教育相談会による全教職員による共通理解、共同実践
- ・交通安全指導や積極的生徒指導による規律正しい児童の育成
- ・規則正しい生活習慣の改善（早寝・早起き・充実した朝ご飯）

**○学力の向上**

- ・学力向上全体プランに基づいた共同実践と検証
- ・効果的な朝学の計画と実践
- ・家庭学習の確実な実施と充実
- ・長期休業中の家庭学習の充実と補充指導の計画・実践
- ・学力の確実な把握と分析及びそれに基づいた補充指導の実践
- ・授業公開を中心とした校内研修の充実による個々の授業力の向上
- ・読解力と作文力の向上

**○特色ある教育課程の創造**

- ・ファンファーレバンドの充実と発展（地域貢献等）
- ・特色ある集会活動の創造と実践
- ・縦割りなかよし班活動の充実と実践
- ・地域人材や地域施設・史跡の活用や出前講座等の積極的な活用、そのための人材・施設バンクの作成と教育計画への位置づけの実施



**○家庭・地域との連携と情報発信**

- ・桜山小コミュニティースクール運営協議会の充実・発展
- ・桜山ふるさと教育ネットなどのボランティア活動の推進
- ・校報、学級通信、HP、きらめきネットなどの効果的な活用による積極的な情報発信
- ・PDCAマネジメントによる学校評価の推進と学校改善体制の充実

**○美しさと機能性のある学校環境**

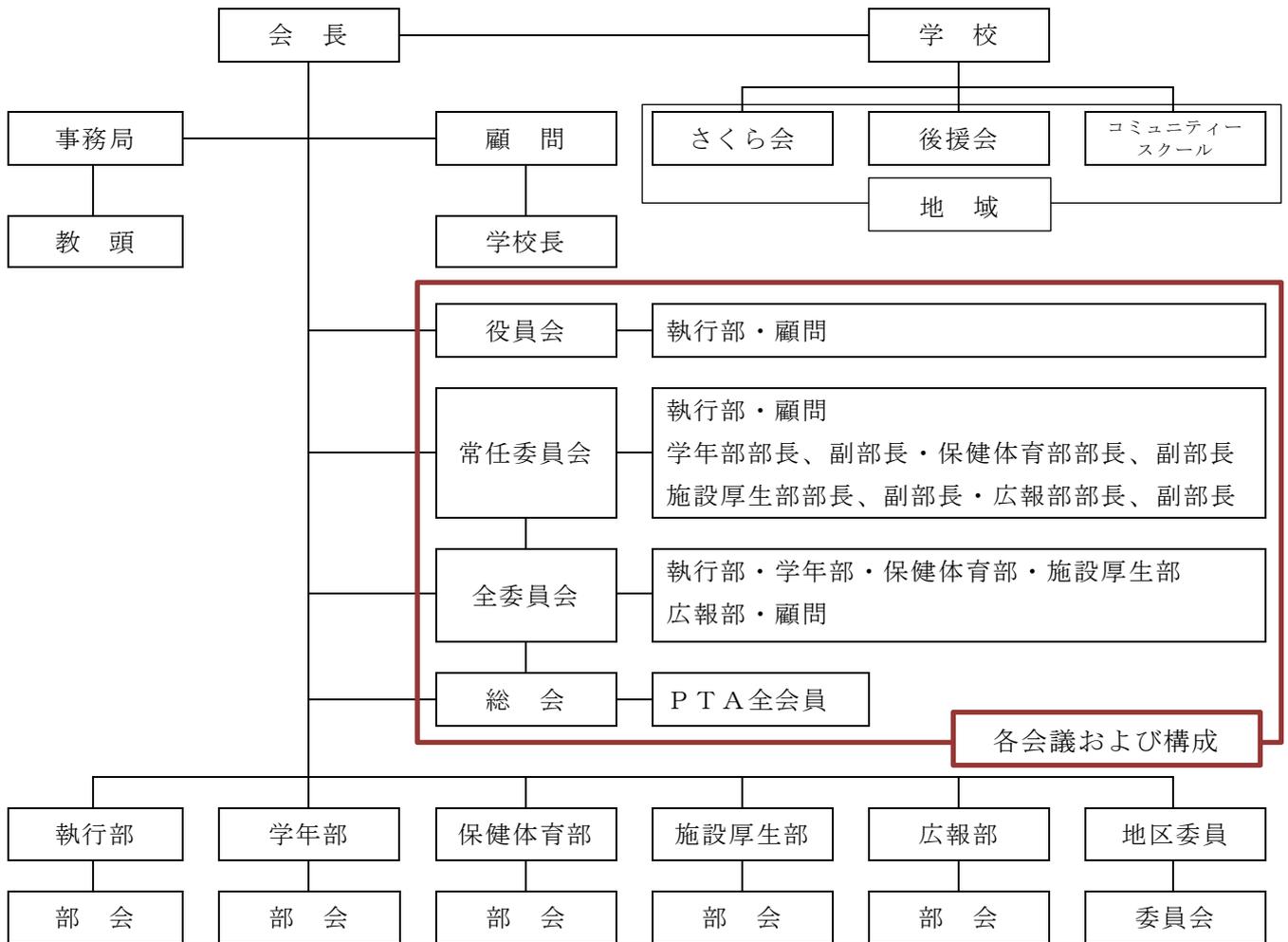
- ・常に安全で機能化された学校環境整備と児童の情操に寄与する栽培活動

**○教職員の適正なサービス管理と教職員評価の推進**

- ・網紀の保持・勤務時間の適正化や面談等の充実による教職員評価の推進

## 2 P T Aおよびさくら会の組織図

### (1) 組織図



### (2) 役割

	活動概要	活動内容
執行部	重要な議題を審議 各専門部相互の連絡及び調整 対外の行事参加	各会議の資料作成・進行 市小P連行事の参加 中西部行事の参加 中学校校区行事の参加 桜っ子祭りバザーの統括 運動会の係り
学年部	学級・学年P T Aの活動推進	運動会の担当係り 桜っ子祭りバザーの出店 学級活動のとりまとめ
保健体育部	保健体育全般の推進	運動会、P T A競技のとりまとめ 小学校児童親睦球技大会の 中学校P T A親睦球技大会の

施設厚生部	給食・災害防止・施設環境の整備 ベルマーク活動の推進	ベルマークの活動 中学校校区育成協議会の参加
広報部	広報活動の推進	年3回の広報誌製作
地区委員	校区内安全点検に関すること	校区内の安全点検 110番の家の確認
さくら会	学校行事のサポート 学校行事の活性化 教職員との意見交換、情報交換 学校施設の修繕	運動会事前準備のお手伝い 運動会、PTA競技の参加 運動会の片付け 桜っ子祭りバザーの出店 学期毎の報告連絡・懇親会
後援会	桜山小学校教育の振興・後援	教育備品の購入 年2回の意見交換、懇親会 地域との連携
えほんDEえがお	読み聞かせ活動	母親地域内の有志による読み聞かせ

### 3 研究テーマについて

#### 学校・地域との連携 100年の今を考える ～生きる力を育てる～

時代の変化に伴い、子ども達また子どもを育てる親そして学校にとっても急激な環境変化においつけないのも事実であります。

学校にとってPTAは地域の軸になります、学校のみならずこの地域全体がどうあればよいのかを、桜山小学校創立100周年という節目に地域全体に投げかけることができればと思います。

### 4 創立100周年

#### (1) 4年間の準備期間～平成23年度より周年準備委員会発足～

創立100周年という大きな節目である行事の為、平成23年6月の周年準備委員会を立ち上げ、翌年4月には第1回周年事業実行委員会を開催し延べ20回以上の会議を重ねいろいろな視点から検討して参りました。

①式典、航空撮影、祝賀会の開催  
②創立100周年桜っ子秋祭り③うさぎ小屋の建設、扇風機の設置などの大きな柱を基にどのように広め広報活動をするかなど話し合ってきました。



〈周年委員会の会議〉

## (2) 創立100周年春季大運動会

5月24日、天気にも恵まれ青空の下、創立100周年春季大運動会が盛大に開催されました。創立100周年で例年とどのようにして少し違うことを競技に取り入れるかで学校もPTAも準備をして参りました。

地域参加競技の「玉入れ」には、多数の地域の方にもご参加頂き、学校・保護者・地域の方が例年とは少し違った大運動会を楽しむことができました。



〈ファンファーレバンドの演奏〉



〈ファンファーレバンドの演奏〉



〈3・4年生によるソーラン〉



〈5・6年生によるよさこい〉



〈5・6年生による騎馬戦〉



〈PTA競技～リレー～〉

### (3) 創立100周年桜っ子秋祭り

例年では11月に開催されるPTAバザー、今年は創立100周年もあり地域の方に少しでも学校へ足を運んでもらえるようにと『創立100周年桜っ子秋祭り』大きく変更することになり、開催日も9月26日(土)に移動して地域も参加できる祭り形式で開催することになりました。

事前準備はもちろん当日準備には、10時より保護者・教職員の多数の方にご協力頂き16時よりファンファーレバンドの演奏と子ども達の大きな校歌の歌声で『創立100周年桜っ子秋祭り』がスタートしました。

祭りには、下関市ご当地ヒーロー『海峡戦士タイガーフック』ショーもあり、終了時間の20時まで例年のPTAバザーではあまり見られない地域の方々にもお越しいただき、祭りを楽しむ子ども達そして地域の方の多くの笑顔が見ることができ、秋祭りを無事終えることができました。



〈秋祭り開式を見る方々〉

『海峡戦士タイガーフック』ショー

〈全校児童による校歌斉唱～開式～〉

### (4) 記念式典・航空写真大撮影会・祝賀会

記念式典の前日には、会場準備を20時頃まで式典のリハーサルなど細かな所の確認作業におわれ最終確認をおこないました。10月24日にも朝早くからの当日準備で式典の準備も終わり多数の来賓の方々また地域の方々にお越しいただき、創立100周年記念式典が盛大に執り行われました。

式典終了後、早朝から航空撮影会社の担当の方1人でグラウンドにデザインを書き写して頂き、式典を終えた児童、教職員、保護者、地域の方々がそのデザインの上に人文字を作り上げ、10月下旬の気温とは思えないくらい暖かく雲一つない素晴らしい晴天の中、皆で飛行機が来るのを待ち飛行機が見えた時には一斉に歓声が沸き上がり航空撮影が終わりました。

その夜には、祝賀会がシーモールパレスの会場で開催され保護者・教職員・地域の方々と今までの準備の労いと無事式典を終えたお祝い、桜山小学校の100歳のお祝いしました。



〈記念式典開始前の様子〉



〈航空撮影～デザイン転写～〉



〈記念式典～前田実行委員長挨拶～〉



〈航空撮影デザイン～作成中～〉



〈記念式典～波佐間教育長祝辞～〉



〈航空撮影デザイン～作成中～〉



〈祝賀会〉



〈航空撮影デザイン～完成～〉

(5) 創立100周年記念誌「わが母校 桜山」

周年会議の中で記念誌の作成にあたりデータ形式にするか冊子本にするか議論もあり冊子本にして作成することになりました。

それから資料収集作業にはいりましたが、桜山小学校は昭和20年の第2回下関大空襲の際、本校校舎は焼夷弾攻撃の中心となり校舎はほぼ焼失したため、現在桜山小学校に現存する資料は喪失・焼失しており少なく、学校沿革史、大正5年第1回卒業アルバム昭和49年度以降の卒業アルバムがあるものの間の戦資料がほとんどなくまた戦時中・戦後で卒業アルバムが作成しているのかわからないまま、私たちは手探りでありましたがより一つでも多くの卒業アルバムや資料を収集することを始め、地域の方には自治会の回覧板を利用してもらい、遠方の方には学校のFacebookを作成して多数の方々へご協力して頂き、ご貴重な卒業アルバムや資料をお借りすることができました。

記念誌の校正や資料の添削作業を重ね、10月の記念式典の時に航空撮影をした写真の最終入稿を終え、11月末に記念誌「わが母校 桜山」を完成し発刊することができました。

完成した記念誌を受け取られた方々の桜山小の思い出を振り替えながら1ページ1ページ記念誌を見入る姿を見て、長く作成に携わってきた私達にとってうれしい瞬間でした。



〈記念誌申込書〉



〈記念誌『わが母校 桜山』〉

(6) 創立100周年記念ショートムービー『母校は桜』～創立100周年特別企画～

今回、卒業生の方から桜山小学校のショートムービーを作成したいとの話を受けて卒業生や地域の方々そして児童、教職員、PTAまでも参加して桜が咲き誇る4月を中心に約2か月間撮影がおこなわれ、校歌を特別にアレンジされた曲をカット撮りし、最後には自由参加でしたが100人も超える方々と一緒に校庭で歌い上げクランクアップしました。

ショートムービー『母校は桜』は記念式典でも上映して全員で鑑賞しました。



〈撮影の様子〉

(『母校は桜 [www.youtube.com/watch?v=ZOL0XBidIQE](http://www.youtube.com/watch?v=ZOL0XBidIQE) でご覧いただけます)

(7) 記念品の品々

- ・サキュレーター（扇風機）の設置～1学級2台～

近年の夏の暑さを考慮して少しでも子ども達が学校で快適に過ご授業に集中できるようにとの声が上がリ、1学級に2台設置、全22台学校へ寄贈しました。



〈寄贈品～サキュレーター～〉

- ・バスケットゴール（移動式）の設置

桜山小学校の在籍する子ども達に学校に欲しいものを聞くアンケートを実施することになり、1番にはバスケットゴールの希望が多数寄せられ寄贈することが決まりました。



〈寄贈品～バスケットゴール～〉

- ・うさぎ小屋の設置

100周年最大事業の命の愛護『うさぎ園』設置を目指してうさぎ小屋の建設をおこないました。うさぎ小屋の名前は児童で決めた『ぴよんぴよん小屋』に決まり、新しいうさぎ3匹と初対面の『ぴよんぴよん入所式』を実施、当日は天気があまり良くなかったので、『ぴよんぴよん小屋』の前での入所式はできませんでしたが、体育館で新しく来たうさぎ達と触れあい、まだ小さなうさぎを見て子ども達も喜んでいました。



〈寄贈品～うさぎ小屋～〉



〈寄贈品～うさぎ小屋～〉



〈寄贈品～うさぎ小屋～〉

## 5 助成金の活用

今年度も引き続き助成の選定を頂き、有効的に活用することとし、秋祭りの開催運営に音響の要望があったので、来年以降また他でも使えるものと考え、さくら会の方々の了承頂き下記の商品などを購入することが決まり、活用することができました。



〈スピーカー〉



〈ポータブル電源〉

## 6 終わりに

少しの時間でも学校に通い、子ども達に関わることで子ども達の笑顔が見られることは非常に意義深いものがあると思われます。様々な方々が学校に関われるように受け入れる方も工夫をしていきたいと考えます。

いろいろな方に支えられ、無事に創立100周年の各行事が終えることができたことができました。

ありがとうございました。